



第62号

発行日
令和4年3月31日

発行
栃農高同窓会事務局

栃木県立栃木農業高等学校
同窓会

ご挨拶



同窓会会長
横尾 武男

同窓会機関誌「土」の発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。新型コロナウイルス感染症の世界的流行が未だ終息をみず変異株との戦いが続く中ですが、ワクチン接種はもとより、ウィズコロナ時代を見据えた私たちの身の回りの生活の工夫、産業界の変化・技術革新など目まぐるしく日々変化しています。東京オリンピック・パラリンピックもそのような情勢の中で行われ、賛否がある中にも選手達の躍動が多くの感動を与えてくれました。

母校においても、日頃の学習や学校行事等で創意工夫の中で生徒が過ごしています。今年度は太平山を周遊するマラソン大会が復活しましたが、感染症対策のため「チップ」で記録をとる方法が導入されました。

その他の学校行事もスポーツ大会や収穫祭、学年研修旅行、修学旅行等全てがこれまで通りとはいかないものの、昨年より工夫を凝らして充実したものにできたと聞いております。特に学校祭では、保護者の方々のみで時間制限を設けた入場でしたが、午前中は農産物・加工品等の即売会を中心に、午後は生徒達が工夫を凝らしたショートムービー上映等が実施されました。このような時代情勢にあっても前向きな姿勢を大変感じる事ができ、在校生と教職員の方々が創り出す栃農のエネルギーを感じる事ができました。

さて、今年度の栃農は、新たな四学科が三年揃う年でした。校外での活躍を振り返ってみますと、陸上競技部で環境デザイン科三年葛西公平君が昨年に引き続き、五月に県高校総体男子八百メートルで自己ベストを更新し五位入賞、六月の関東高校陸上競技大会に出場しました。また、植物科学科では二年島田桃花さんが毎日農業記録賞優良賞、動物科学科が和牛甲子園優良賞、環境デザイン科二年小沼匠大君が日本学校農業クラブ連盟全国大会農業鑑定競技会で優秀賞を受賞しました。さらに農業環境部では、第五回輝く「とちぎ」づくり表彰、エシカル甲

子園2020、ダルメインマール日本大会アマチュアの部などで活動の成果が表彰されています。昨年度からの「未来を創る高校生地域連携・協働推進事業」に取り組んでいることが、意識付けとなつて新四学科がそれぞれの学科の特性を活かした学習の成果が、地域に農を通して還元され、その活動が評価されていることは同窓生にとつても大変喜ばしいことです。今後も継続した活動で学び、知識や技術等を得るとともに、その活躍を地域に発信して欲しいところとす。

本年度は、新四学科一期生が卒業する年でした。それに相応しい素晴らしい卒業式で立派な姿を見ることができ、唯一の単独農業高校の同窓生として、さらに活躍していくであろうと感ずることができました。これまでの輝かしい歴史と伝統の先に、より地域社会と密接に関わりながら、更なる発展と在校生の活躍する姿を想像することができるとは、大変嬉しいものです。終わりに、母校の益々の発展と会員の皆様のご健康・ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



ご挨拶

校長

巻島 陽一

「令和」新たな時代へ」

同窓会会員の皆様には、日頃より、本校の教育活動に對しまして、ご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ここで、本年度の生徒達の活躍の一端を紹介したいと思います。農業環境部（食品科学）では、栃木市平井地区の特産であるユズを用いたマーメイド作製に取り組みました。原材料の量を細かく検討して最高の物を目指したところ、第三回ダルメイン世界マーメイドアワード&フェスティバル日本大会において金賞（アマチュアの部 柑橘一種）を獲得することができました。

環境デザイン科では栃木市役所の庭園を新たにリニューアルいたしました。大平山とそこに広がる街をイメージして制作に当たりました。是非機会があればご覧ください。

植物科学科では、岩舟農場でIoT活用の研修会を実施しました。水田の水位計をスマートフォンにデータで送信し確認するまた、電動リモートの草刈り機の実演も行い研修しました。

が多く、露地野菜栽培に於ける計画的栽培の難しさを実感しました。また、地域と子供たちがつながる本場に良い機会になりました。この献立の栃農生産自給率五十八・五%、更に向上するように努力したいと思います。

海外の持続可能な農業などを学ぼうと植物科学科三年生がビデオ会議アプリによりオンラインで授業を行いました。その講師はハワイ州のグローバル教育団体の丸王祐子さんです。内容は「アロハプラスチャレンジ」について説明、伝統的なタロイモを生産する農園や地産地消に取り組むオーガニックスーパーを通じた環境問題の取組を紹介しました。生徒はチャット機能を使い質問したり交流したりしていました。ハワイと日本をつないだ授業の実践です。

三年ぶりにマラソン大会を行いました。令和元年度は、十九号台風によるコースコンディション不良のため、昨年度はコロナウイルス感染症拡大のために中止となりました。本年度は、コロナ禍ではありますが、感染者数が少ないことと新たなアイテムを導入することにより密を避ける、競技の計時等の係職員・補助員を減らす目的でICチップを導入しました。生徒は男女上位五十位と学年ごとによるスタートとしました。

これにより八グループでスタートすることができました。生徒たちは全員が一生懸命太平洋山の周回コースに臨みました。

男女混合によるクラスマッチのため、どうしても男子の割合の高いクラスが有利の感じがしました。しかし、結果は、「食品科学科」が総合優勝となり、心配はいらないことがわかりました。生徒の心から応援する姿が感動的でした。若いつて素晴らしい。

さて、今年、各会社の求人状況が回復傾向の中で、希望する就職先に多くの生徒が内定をいただきました。また、進学も生徒達の希望する進路先へ大部分の生徒が合格することができました。特に、四年制大学には福島大学をはじめ、現在十名が合格しています。

是非、栃農高で学んだ三年間を忘れることなく、本校で身につけた知識・技術や精神力を新天地においてもいかんなく発揮し活躍されることを願っております。また、創立百十周年の時、鈴木前校長が掲げた、「栃農ルネサンス」歴史と伝統から新たなステージへ「INNOVATION ユネスコスクールで探求×SDGsの実践」としました。栃木県発のユネスコスクール校として更に発展していきます。

本年度は新生栃農高として全ての学科がリニューアルされ、「植物科学科」「動物科学科」「食品科学科」「環境デザイン科」の4つの学科で初めて卒業生を出すこととなります。

栃農高同窓会総会報告

令和三年度栃農高同窓会総会が七月十三日(火)に本校会議室において行われました。本来であれば、七月上旬に総会及び懇親会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から今年度は役員会での協議の結果、役員と各支部長のみでの開催という形を取らせていただきました。

横尾武男会長(昭四十五農卒)からは、コロナ禍ではありますが、二年ぶりに総会を開催できたことに感謝を述べると同時に、「本年度で、新四学科が三学年揃うと同時に、新学科になり初めての卒業生が誕生する変革の年で我々同窓会も一丸となって学校を支えていく必要がある。」と、心強いお言葉をいただくことができました。

総会では、令和二年度事業報告、決算報告(監査報告)、令和三年度事業計画案、予算案、その他について審議していただきました。

また、同窓会会則の改定の承認や通帳の運用につきましても審議いただきました。

～総会次第～

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 議題
 - (1)令和二年度事業報告
 - (2)令和二年度決算報告(監査報告)
 - (3)令和三年度事業計画案
 - (4)令和三年度予算案
 - (5)その他 同窓会会則の改定について
同窓会通帳の運用について
その他
- 5 閉会のことば



総会の様子 施：会議室

新四学科 第一号卒業生の飛躍願う



入会式の様子 会長挨拶



卒業式の様子 卒業証書授与

令和四年二月二十八日(月) 令和三年度同窓会入会式、三月一日(火)卒業式が挙行され、一五二名の卒業生と同時に新しい同窓会会員が誕生しました。

入会式では、会長より「栃農で培った力とプライドを持って活躍していただくことを期待する」との激励をいただきました。生徒代表あいさつでは、農業クラブ会長の永井まなみさんから、「創立一五年の歴史と伝統を持ち、多くの卒業生を輩出している栃農に恥じぬよう、また、沢山の功績を残している先輩方に少しでも追いつけるよう努力していく」との決意が述べられました。

卒業式は、春の訪れを感じる暖かい陽気のなか厳粛に挙行されました。保護者、在校生、教職員に見守られるなか新学科第一号卒業生一五二名が晴れやかな表情で旅立ちました。

本校生徒の活躍

栄光の先輩方

若林 照一様 (昭三十四年農業科卒)
旭日双光章 (地方自治功労) 受章

籾原 政夫様 (昭五十四年農業科卒)
佐野市議会議員選挙 当選

坂田 昇一様 (昭四十七年園芸科卒)
壬生町議会議員選挙 当選

鈴木 理夫様 (昭四十四年農業科卒)
壬生町議会議員選挙 当選

早乙女 善昭様 (昭五十八年農業科卒)
第2回栃木県農業大賞 栃木県知事賞

【運動部の主な実績】

【柔道部】

栃木県高等学校体育大会柔道競技会
 女子 優勝 食品科学科 三年 中島礼華

男子 三位 植物科学科 一年 横島 悠介
 五位 環境デザイン科 一年 岡田 徠夢

【陸上競技部】

栃木県陸上競技選手権大会 一部
 男子八〇〇M 第六位
 環境デザイン科 三年 葛西 公平

(関東陸上競技大会出場獲得)

【野球部】

農業高校大会 準優勝

【文化部の主な実績】

【手打ちそば部】
 そば道段位日光認定会
 初段二名、二段一名

【農業環境部】

ダルメイン世界マーマレードアワード
 & フェスティバル日本大会
 金賞

”輝く“とちぎづくり表彰
 最優秀賞

エシカル甲子園 関東代表

【吹奏楽部】

JBA栃木県管打楽器ソロコンテスト
 高校生の部 優良賞

食品科学科 一年 戸辺 龍
 県南地区アンサンブルコンテスト
 銅賞

【写真部】

STIOTOフォトコンテスト 優秀賞
 動物科学科 二年 三枝 美咲

萌写萌写コンテスト 優秀賞
 動物科学科 一年 上山 美嘉

動物科学科 一年 笠木 唯吹
 佳作

【その他コンテスト結果】

日本大学全国高等学校土木設計競技
 入賞 環境デザイン科一年

秋山豹我、長江大輝、根岸柊斗、
 福田杏莉、若菜吏真

第四十八回毎日農業記録賞 優良賞
 植物科学科 二年 島田 桃花

和牛甲子園 優良賞
 動物科学科

【農業クラブ結果】

栃木県学校農業クラブ連盟
 家畜審査競技会(肉牛の部)
 優秀賞 動物科学科
 三年 須藤 涼太

プロジェクト発表会

分野一類 優秀賞 農業環境部
 分野三類 優秀賞 農業環境部

意見発表会 優秀賞
 分野一類

植物科学科 二年 島田 桃花
 分野二類

食品科学科 三年 近藤 大斗

平板測量競技会 優秀賞
 環境デザイン科 二年

日本学校農業クラブ全国大会
 農業鑑定競技会 優秀賞

環境デザイン科 二年 小沼匠大

編集後記

会員各位におかれましては、日頃より本校同窓会の諸事業に關しまして、多大なご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。本会誌の発刊はホームページでの掲載とし、多くの方々の目にとまることとなりました。今後も、より同窓会の内容を発信できるようにとめていきますので、ご協力とご理解をお願いし、編集後記とさせていただきます。